Duplicate

(1) 昭和26年(1951年)12月20日(月刊) 立教大学新聞 (昭和25年7月16日第三種郵便物認可)(一部定価五円) 第83号

立教大學新聞

発行所
豊島区池袋三丁目
立教大学新聞学会
振替口座東京70853
電話(86)3120—9
内線 37
編集兼印刷発行人
江田毅而
(毎月廿日発行)

文化会だより

－経済学会－ 研究日 月曜日 一年対象 宇治田助教授、木曜日 リガード研究 三四年対象 宮川教授、金曜日 日本資本主義発達史 二年対象 加藤講師

－弁論部－ 十二月十二日全国東京教大学雄弁大会で東海林君二位になる、今後共講演会を盛大に行う予定、来年の総選挙の応援弁士として各政党から依頼多く来る

－社研－ 研究日 火曜日 民族問題研究 宇治田助教授

この一年 学生社会の話題を拾う

本紙記者匿名座談会

恐れる"復活の世相"

トップは京大事件

この一年学生社会にもさまざまの話題があつた。日本のおかれた国際的立場から 学生もまた学園という社会に一人とじこもっていることは許されない。何らかの形でわれわれの実生活と密接に結びついてくるのだ。本紙ではこゝに 恒例の記者匿名座談会を開いて広く学生社会に起つた諸問題さらに立教学園の学生々活について学生新聞記者の 眼に映じたそのまゝを語り合つた。この批判の中から何らかの発展への息吹き を見出したいというのがわれわれの念願である。

司会 初めに京大事件から。京大同学会が中心になって天皇の京大行幸に際して平和に対する公開質問状を発して、プラカードを掲げて要求した。ついに警官隊の乱入で幕切れとなったあの事件だ

C あの質問状は当然だと思う逆行している世相に対する、青年学徒の真情の奔り出た要求だったと思うね。

A だけどね、これあ天皇制の問題とからんでくる。神様を廃した天皇でしょ。権力や政治の中心じゃなくなってる。そういう天皇に対して……。

B そうだ、それは確かにあるそういう要求の対象として天皇を持ち出したことは間接的に昔の天皇に復活させることになりやしないかな。

D 象徴になったからこそ、学生があゝいう要求を出す、当然じゃないか。天皇が戦争にかりたてた。だから今度、何う考えているか、質問したって少しも不思議じゃない。

E 現在の学生の叫びとして質問は認める。学生運動の動向でもあるだろう。然しね、方法においてもモラルの点でも誤まりは認めるべきだ。

D 然しね。寧ろ天皇が気の毒に思う。まるで人権が無視された結果になったよ。

F とにかく勇ましいことをやったもんだね。

D たまたま京大に行幸になったんで、いゝ機会だと不安を満そうとしたんだ。

E それが偶然的なものであったということだね。

司会 その前に社会党の水谷代議士の私宅をブッコワしたという事件があったが。

D ブッコワしたなんてハッタリも甚しいよ、ありやガラス戸を押し倒したというだけだ。

B そりあね、われわれは見て来た訳じゃない。日刊紙が破壊したと報道した、こゝに根本的なネ現代の悲劇があるような気がする現に朝鮮で本当に戦争しているのかどうか、ただしてるんだろうと思うだけだ、新聞がね、完全にマスコミユーニケーションの道具化されてる、ここに機械時代の悲劇があるんだと思うよ。

教育勅語の亡霊か

文相の「國民道徳実践要綱」

司会 第十二臨時国会で天野文相が所謂る「國民道徳実践要綱」を出すんだといった。これが世間で問題となって結局白紙に戻りはしたが、この問題について

F 戦前の教育勅語のことだがあれを本当に多数の人が実行しようと心掛けたかどうか。あそこに書かれたこととは皆人間のモラルでこれを集めてあるにすぎない。

D 日本人の国民性として何か定められたものがあるとそれに盲目的に従って了う悪癖がある。だからそりや駄目だ。天野さんの問題にしても「書記長としての西尾個人」みたいなもんで結局彼は文相なんだからな。権力的になる。

B その通りだ。日本人が民主化されたかどうかは自身で考えて行動するかどうかにある。そういう道徳的なものを規定だけしたって用が足りるもんじゃない。この意味で笠信太郎さんが「ものゝ見方について」の中で云ってる「しばし足を止めて考える」というのはけだし名言だと思うよ。

あゝいう時代の逆行を思わせるようなやり方はまずいね。教育勅語の復活になるの を恐れるね。安易な民族性は改められねばならない。

A これ、むずかしいんでヨ。

司会 結局、ひっこめたわけですがこのいきさつは。

B 要するに世論の反対に従ったんだろうが、こゝがリベラリストとしての天野さんの偉さだろう。

D 文相になって大分男を下げた感があるからな。

司会 こういう問題について立教生はどうみてる。

B 依然、エデンの園にいる。幸せなのかな。

"学生の胸打つ南原さんの演説"

司会 次に東大総長の南原さんが任期満了して矢内原さんと交替することになった、その送別会での演説が相当感激的なものだったというが、東大総長の占める政治的意味から、広く学生間の話題たりうると思うが。

E NHKの録音で聞いたが確かにアッピールするものだった。何かズーンをきたね(笑)

D 現在の日本にあって良心ある学者なら誰れもいゝたいところの内容だった。たゞその機会がない。南原さんはいゝことを云ってくれたな。

B 確かにそうだね。「真理こそ最後の勝利者でなければならない」こと今より急なる時はないから。

A 南原さんの云うことは何時もいゝね。

司会 うちの総長と 較 べてどう。

A 佐々木さんには、これとはまた別なよさがある。

E 宗教家として立派な人だ。

B とにかく優れた 人格者だよ。

アジア大会裏話し

司会 四月にインドで開かれたアジアオリンピック大会に立教からバスケットの斎藤、荒井、自転車の杉原の三君参加して大いに立教のために気えんを上げてくれたが、これについて。

B 荒井、斎藤君のインド行きについては美談があるんだ。二人とも社会科の二年C組にいたんだが、このクラスで有志の発案でね全員のサイン帖を贈ったんだ。飛行機の中で読んで下さいってね。これなんか非常に美しいって感じだね。

F 中には随分くだらないことも書いてあったぜ。

B うん、「スゴイ美人を引っ懸けてこい」なんて のもあったな。

D 非常に男らしい友情の表れだね。

B 体育会の学生って情に厚いところがあるぜ。スポーツマン・シップというどころかな。

司会 自転車の杉原君、いゝ成績だったようだが。

D 第一位になって、日の丸を掲げてるよ。

B あゝいう国際試合で日の丸を掲げたのは古橋たちを除いては最初だろう。

E アジア大会に参加する学生たちを学校全と体して壮行会位やって送り出す必要があったね。

A そう、そう。

"良心的な本学の教育方針"

司会 この辺で学生界の話題にのった問題点を終って、学内一般の活動について語ってもらいたい広くクラスでの生活状態はどうだろう。

B 総務部長の話しだけど、学生は勉強するのが第一だから、教室のふん囲気をまずよくする、これが学校の方針だそうだ。この点で他の大学に較べて確かにいゝ。第一遅く教室に出ても座席がなくなったっていうことがないだろ。

C 授業に出たことがあるのか(笑)

B 無いからさ、だからだろうなんだよ。

F そうでもないぞ、立って講義を聞いてるのもあるぞ

B そうかね。然し、われたガラスは大体すぐ入るし、紙屑籠なんかも置いてあって気分がいゝぜ

F 教室に顔を出すことはあるらしいな(笑)

B それ位知ってるさ(笑)

A こないだある教授が云ってたが薄給だってこと、こういう面に多く金を使ってるからだな。

D 教授が犠牲になってるってことだね。

低調な文化運動

司会 結局学生は感謝すべきだってことだね。ちや今度は文化会の活動に移ってもらおう。

B これも人に聞いた話しだがこないだ「立教文学」の合評会をやった時、こういう話が出たそうだ、雑誌部のK君がね、教室に出るとね、なんだあいつ小説なんか書いてやがって何うするんだって白眼視されるって 慣

D そりやひがめちゃないかな 然し、文化意識が低いね。

B 駄目ネ。

C 最近講演会が多くなってるようで、いゝ傾向じゃないか。

E 弁論部はよくやるね。でも演題によって随分聴衆の入りが違う。

F 立教的なものでなくちや駄目なのかな。

D そんなことはない。

A 英語会もよくやってるよ

F 四大学英語劇か。

A 高校生の英語弁論大会もある。あそこの仕事は伝統的だ。

D 一般的にまだまだ低調だね

司会 予算の面でどうだろう。

E そりゃ少ないとこで相当に活躍を制限されてるってことは確かだ。うち(立大新聞)に例をとっても、連盟の経営者会議でいってるように日大など一ケ月新聞を出してまた六万円余るというからな。

F その残りでもうちの一年分以上か。

E 前に居るが史研は昔の伝統の面影がうすれている感じだね。

改めるべきXマスのお祭り騒ぎ

司会 Xマスも近づいたが、例年の体験からこれについて何か。

E 委員会で演し物を短時日に各部に押しつけてる感じが強い。これなぞ毎年決まった行事だからもっと計画的でありたい。

B 一般的にお祭り騒ぎの感が強い。

D 話は違うが、今年の文化祭は淋しかった。クリスマスにしても文化祭にしても、そのためだけの文化会でありたくない。

B 予算が少ないなら少ないで演し物を厳選して重点的にやるべきだった。

D でも相当の予算がおりたっていうではないか。

B そうかい。そんならもっと問題は大きい。

E 来年はとにかくもっと活発であって欲しいね。

楽しく写せる……
さくらフイルム
小西六寫眞工業株式會社

世論調査

クラス委員会をどうみる

代議員の責務に不満

自治確立を疑問視

前号に掲載したクラス委員会に関する報道は、読者間に大きな波紋を投ずる結果となって現れた、本紙ではこの問題に関して、全学年を対象に"クラス委員会をどうみるか"の学生の世論調査を行い、その結果が次の通りまとまった。集計に現れた結果にみると自治組織が確立されていないとする意見が教養科で六一・三%、三、四年生の専門学科では七三・八%を占めていることが判り、クラス委員が何をやっているのか判らぬとする意見は教養科で七九・四%、専門学部で八四・六%となって現れ、クラスを代表するクラス委員の活動が大きく批判され初めている

調査方法 チェック・リスト(該当する意見に印をつける)方法によりランダム・サンプリング方法で全学年を通じ1/8の比率で無作為に調査対象を抽出、クラス組織の相異のため一、二年の教養科と三、四年生とは別個に集計し、調査書の回収率は八五・九%だった

問一 学生会の組織はクラス委員会、体育会、文化会の三本建てになっていますがこの構成をどう思いますか

	教養科	三、四年
現状でよい	六一・九	四四・〇
いけない	一九・五	三八・五
わからぬ	一五・五	一二・三
その他	一・〇	四・六
無解答	三・〇	○

この問に対しては教養科、専門学部を通じて過半数が現状を肯定している、こゝで現状ではいけないと答えた者に対して試みたその理由はの質問には、各部活動と自治組織が区別されないとする意見が過半数を占め、自治に対する投票権が二重に行使される点を指摘したものがこれについでいる

問二 あなたの意見はクラス委員によって充分に代行されていると思いますか

	教養科	三、四年
いる	一九・五	三・〇
いない	五四・二	七三・八
わからぬ	一八・七	一・五

この質問では教養科と三・四年とに著しい差をみせており三、四年では圧倒的に代行されていないとする意見が強く、一体何をしているのか判らぬという理由を上げているのが目立った、代行されていないとする者に対して行った質問では自治組織が確立されていないとするものが教養科で六一・三%確立はされているがという者が教養科で十七・六%、三、四年で二一・三%となっている

問三 現在クラス委員会では総会を毎月一回開いていますがこれをどう思いますか

	教養科	三、四年
もっと多く	二七・九	二一・五
現状でよい	五四・二	五二・三
その他	七・二	一八・五

この場合は、教養科、三、四年を通じて現状が支持されているまたこれ以上頻繁に開くことも技術的に困難であるとする意見と回数はこれでよいが、もっと活発であれとする意見がその他の項に表れた共通の傾向だった

問四 あなたはクラス委員から総会の報告を聞いたことがありますか

	教養科	三、四年
ある	二〇、二	一二、九
ない	七九、四	八四、六

こゝでは聞いたことがないとする意見が驚威的に多く、両者共通した傾向となって表れている

問五 あなたのクラスではクラス全員の集りをもっていますか

	教養科	三、四年
もっている	六・九	四・六
いない	八六・〇	九三・九

こゝでは圧倒的に持っていないとする意向が大勢を占めており、クラス委員の代議員として性格に大きな疑問を投げかける結果となって表れている、このクラス全体の集りを招集することは学内規約となっているだけに問題は大きいとみられる

論説

考える個人に

いくばくもなくしてこの一年に袂別しようとする今、われわれの歩ゆんで来た途を静かに顧りみて、反省すべきは改め、決意すべきはそれを新にして、明日の発展への糧とする心要があろう。それが人間の途ででもあるのだ。

此処に生れる反省は一人個人の問題に止まるものではない個人の完成が、まず民主化する日本の基本要件であるからだ。

今年になって、終戦以来活溌であった学生運動は鳴りをひそめた感がないでもない。表面たけをみれば確にそうもいえよう然し十月、天皇の京大行幸に際して起ったいわゆる京大事件は、学生社会のみならず広く巷間の話題をさらった。戦争の危機がひしひしと感じられる今日、万一平和が破れゝば、犠牲の先端に立たざるを得ないのがわれわれの年代であってみれば、あのような「平和への公開質問状」も無理からずとその心意気は肯定出来る。しかし、既に政治の座を降りられた天皇である。しかあ人間としての天皇に話しかけるなら、もっと平和的であって欲しかった。あゝいう反平和的な行動が、そこに表れた行動だけで右旋回の傾向にある世相、いや大衆に自分たちの力で拍車をかける結果に終らないとは云えないのである。勢の流れに流される誤まった、しかし強い日本人の習性を忘れてはならないのである。

もう一つ、天野文相が「国民道徳実践要綱」を出すという問題があった。結局これは世論の反対で白紙に戻されることにはなったが、こゝに日本人の悲劇がある様な気がする。それは直ちに「教育勅語」の復活を云々するのではない。一国の文相として国民の道徳の在り方を心配するのは当然である。まさか文相が反民主的な方向へ大衆をひっぱってゆこうとするのではあるまい。しかし、われわれが心配するのは、そういうふうにして定められたものには無條件に従ってゆく日本人の国民性を知っているからなのである。

なぜこゝで、京大デモ事件と文相の道徳綱領をもち出したかといへば、民主々義は個人が考えることから初まると信ずるからである京大事件の場合は、最近の行動的な学生運動の表れであった。そしてその前に社会党の水谷代議士宅に投石した事件があったという。京大では天皇の空車を囲んで、騒いだ。共に極めて反平和的な行動である。少なくとも大学に学ぶ者がさういう行動をとったということが学生社会のみならず、広く大衆の心に巣喰っていったら大変である。平和の要求が逆効果となって表れるのだ。

天野文相の問題は、前述の恐れを感受する側、個々人についての警告になる。考えることを失った人間は哀れである。何んなに百鬼悪行しても個人が考える人間であれば文相の心配は無用になる。権力に支配されることも、時代の流れに押されることもなくなろう。

今日の日本を復活の世相と評する人がある。全て支配者のすることが民主化の逆行を招いているということだ。まさにその感は深い。しかし、そういう時代であればあるほど「しばし足を止めて考える」日本人が要求されることの急務なることを今日をおいてないであろう。一年の反省と明日への発展がこゝに存すると信ずるゆえんもこゝにある。

雑誌

『英米文学』復刊さる

三月に第一号発行

昭和十八年休刊されて以来沈黙を続けていた雑誌「英米文学」がこのほど、英文科杉木教授らの手により復刊されることになり、三月に北星社から第一巻が出ることになった

同誌は"立教経済学研究""立教史学"等とともに学内のみならず広く一般にも読まれていたものであり、大いに期待される

なお第一巻の執筆者には杉木、細入、富田、中川、飯島、師岡の諸教授が書かれ、英文、邦文、論文等、多彩に亘っている

新聞閲覧室設置

グリークラブ跡に

学生部では学生の意識向上をはかる意味で去る十七日からグリークラブ部室跡に新聞閲覧室を設けた

朝日、毎日、読売、日経、日本タイムス、日刊スポーツ、東京等の各新聞がある

自動車部前に新校舎増築

既報=当初、現在の体育館前に増築される予定であった新校舎はそ自部車庫前に建築されることになった。

なおこの工事は総工費六〇〇万円の予算で、明年秋の新学期までには出来る予定である。

"眞理は最後の勝利者"

南原総長送別会で講演

任期を満了して東大を去る南原前東大総長を送る送別会が、東大初まって以来といわれる全自治会と学生団体が参加して十二日午後三時東大二五番教室で行われた、この日教室は学生が溢れ出る盛況、総長の講演は深い感銘を与えた。講演要旨次の通り

大学は左右の党派を越えて真理と自由に奉仕するところだ。学生運動は党派的な色彩で動かされたことは事実で、東大にも若干遺憾の点があった

在任中最もつらかったことは、昨秋の事件の責を問うて教へ子をきらさるを得なかったことだ。しかしそれらの諸君には復学の道が開かれている、時代は転換し、民主主義の危機が立ち現れつゝある、時代の足どりとともに"大学の自由"への干渉が行われた、これは政治の動向につながるもので、世界人類の運命にもつながる。この時こそ大学の自由は死守されなければならない

サンフランシスコの二つの條約によりこれまでの理想を断じて変へてはならない。このとき学徒としてしなければならないことは、日本をふくめた中国、印度などアジヤの文化、経済、政治、社会について欧米以上に研究することだ。最後に「大学は一つ、真理は最後の勝利者だ」と云ひ残したい。私は永久に諸君の友人である

スポーツ

全日本の王者に

米蹴

第六回甲子園バウル(関東、関西大学リーグの覇者同志の対戦)は去る九日二時から、関東側の本学対関西学院大学との間で行われた

前半は本学が優勢に試合を進めれば、後半ようやく関学も自己の力を、フルに発揮して試合をリードし、このバウル始って以来の肉弾戦となり、最後まで両軍とも予断は許せなかったが、結局本学は前半の得点がものを云い19−14で勝利をおさめ、初の制覇をとげた

これで関東リーグの優勝と、学生界の王座を握り、事実上全日本の最強チームとなったわけ当日のスコアー

立大	19	6	6	7	0
関学	14	0	0	7	7

惜しくも覇権逸す

学生籠球選手権 又、早にひねらる

第三回全日本学生バスケットボール選手権大会は去る七日から四日間メモリアル・ホールで行われた本学は慶大とともに優勝候補の筆頭に上げられていたが、第一回戦に鳥取大、二回戦には北大を撃破したが、昨年の宿敵早大と三回戦で顔を合せ前半32−26、後半21−25と、わずかなゴール差で破れ、三位決定戦には教育大に快勝して昨年同様三位に止った、なお慶大は早大に勝ち三年連続優勝を遂げた

海を越えた友愛の協力

長野教授と今昔物語

ロンドン大学で日本文学を講義する一英人教授が「今昔物語」の研究のため来日、この研究に本学長野教授が協力している

この話の主はロンドン大学が毎年一名日本文化研究のために教授を派遣している留学制度によって来日したロンドン大学教授DEミルズ氏でこれは、教授が、その専攻である「今昔物語」の研究に助力を求めて東大国文学科の久松主任教授を訪ねたことから初まる、この話を聞いた久松教授は日本国文学界で「今昔物語」を研究している長野教授を紹介、こゝに国境を越えて学問で結ばれた両教授の対面となったわけ、ミルズ教授は日本文学の研究を初めて既に七年、わが国古典文学は殆ど読破、立派な日本語を発す日本通で、研究のためにはたばこも止めるほどの本年廿八歳になる努力家、この「今昔物語」の研究を博士論文にすると頑張っている教授は随時長野教授を訪ね、字句上の解釈などについて助力を得て研究を続けているが明年九月帰英するまで日本文今研究のため広く日本の習慣にふれたい希望でいる

ミルズ教授談 日本はいゝ国だと聞いて来たが話より非常によい印象を受けた、日本人は誰れとでも親しくなれそうな感じをうける「今昔物語」の研究と共に日本の習慣にふれて充分によく日本を知って帰りたい、長野先生は極めて研究に熱心なのでいゝ協力者を得たと思っている

長野教授談 日本でも文壇では珍重されているが、かんじんの国文学界では関心のうすい「今昔物語」の研究者が外国から訪ねて来てくれたのは「友あり遠方より来る」といった感じで嬉しく思っている、出来るだけの協力をしたい。ミルズ氏の「日本古典」についての知識は日本で有数なものだ、これが 機になって「今昔物語」の翻訳されることにでもなれば日本人として喜ばしいことだ

文化会部長に加藤君(三年)内定

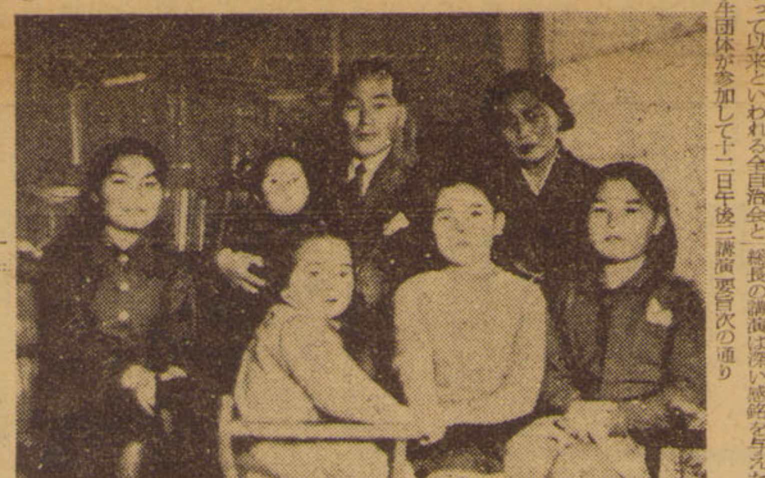
四年生卒業に伴う後任文化会部長の選挙は十八日警文化会々長出席のもとに内定した

部長 弁論部加藤祐治君(三年)副部長 写真部水田行雄君(ら三年)

波紋

クリスマスも近ずいたが、いつも思うことは全学生が一緒になって祝うクリスマスとは縁が遠いようだ▼門前の巨大なクリスマスツリーには装飾電球がつき実に美しいものだが、それがダンスパーティのためにあるような気がするのは…チャペルには人少くダンス場は盛況する▼学校の 教育方針が「基督に基ずく人格教育」「真理の本源である神を 目指して…」「基督教に基ずく正義と愛の精神…」とある以上、基督の降誕祭において全学生がけいけんな祈りとそしてまた楽しく祝うことがあってもしかるべきである▼そしてクリスマスのプロを作成する学生会が、毎年繰り返す馬鹿の一つ覚えのようにダンスパーティしか開かずと云ったやり方は、当事者にたいして不満やり方なしと云わざるを得まい

▼一部の学生しか楽しめないダンスパーティでは街のキャバレーで二千円という高値で徹夜する意味のない馬鹿騒ぎと同じである▼もう少し利口な方法で孤児救済資金をわずかでも全学生から募金してもらうとか、その外わずかな予算でもあるであろうが皆が協力して演劇をやり、貧しき者のために一夜を楽しくすごさせるとか、何んらかの方法があるのではなかろうか▼貧しき者が指をくわえるクリスマスであっては意味をなさない、当事者がこのようなことに積極的であれば、必ず反響があるし、またこれを行うことが基督の福音の精神であることは皆百も承知であるはずである。



夕べのひととき

教室で厳めしい教授が、どんな姿で憩いをとっているかそういう家庭人の横顔を描くのがこの欄の目的である。

家庭教育がモットー

—学生部長 小川徳治氏—

公務旅行から帰ったばかりだという所三十分という約束で会った。とにかく「忙しくて、家族と顔を合はせる時が殆どないそうだ。大変な御苦労である。

「子供ば時間が来れば必ず寝かせる」主義だという。永年の外国生活が時間に几帳面にしたのだろう。たまに立教女学校二年生の長女春乃さんの「勉強をみてやる」ことがあるそうだ。「英語はこっちでやることがむつかしすぎるのか、ついて来てくれない」とコボす親の代、一代続かずといいます……。

今年になって女子学生が急に増えた。そこで一同を集めて訓辞した。「卒業して、殆ど家庭人になる んだろうからアメリカナイズ されるより、日本の女性らしい女性たれ」と。大いに賛成である。将来の賢婦たれということだろう。

学生部長として学生を補導してきて到達した結論は「家庭教育が第一」という。さしずめ子弟の教育はその意味で厳格だろうと想像する。

「野球部長になった四シーズン送った。これでまた忙しくなった。今年は連盟の理事長でレッド・ソックスチームを迎えて大活躍だった。

丁度、野球部から電話がかゝった。試合に負けた報告だそうだ。「僕は負けたとはいわない、只、勝ちを譲っただけでね」まさに烈々たる闘志というところだろう。(桔)

会告

今年の新聞発行は本号で終りますなお来年は一月廿日号から発行致します

新聞学会

大学教科書参考書

木方 成美	経済学入門	230
野村兼太郎	経済史入門	190
高垣寅次郎	貨幣論入門	160
小島昌太郎	金融論入門	200
寺尾 琢磨	統計学入門	180
汐見 三郎	財政学入門	160
岡崎 文規	人口学入門	160
福田敬太郎	商学入門	190
高田 保馬	社会主義経済学入門	160
北沢新次郎	労働問題入門	160
高瀬荘太郎	経営経済入門	18
波多野 鼎	國際経済入門	5
沖中 恒幸	工業経済入門	190
久保田明光	農業経済学入門	160
向井 鹿松	外國貿易論入門	260
藤田 武夫	現代地方財政の理論	280

—送料各冊30円—
東京神田駿河台三 廣文社 振替東京114868

来たるべき就職試験に備えて!
政治 経済 新語小辞典 一九五二年版
講和会議を含む國際・政治・財政・経済・貿易・産業・労働・社会など各方面にわたつて、新しい時代の新しい用語を明快に解説した書
¥120・〒15

最新刊
馬場啓之助著 経済学の哲学的背景 400円
大泉行雄著 経済生活の本質 職能と職分の問題 370円
日本経営学会編 株式会社と企業経営の諸問題 定価・四二〇円

JRヒックス著・酒井正三郎訳
経済の社会的構造
経済学入門
従来の経済理論に於ける抽象を廃して具体的事実より理論を構成する新しい経済学入門 ¥380

東京神田駿河台下 振替東京135番 同文館 図書目録進呈 送料各25円

飜訳権獲得!!
幸福の後にくるもの
ケッセル 堀口大學訳
全四巻
第一巻 メディシスの泉のほとり 十一月上旬刊 定価三三〇円
その魂の苦悩に於て「罪と罰」に、構想の雄大さに於て「チボー家の人々」に、その面白さに於て「風と共に去りぬ」に比せられる現代佛文学の大作!!
純潔を秘めつゝ性の神秘に溺れてゆく三人の若き主人公に配する登場人物無慮四十余人、連続する事件を驚くべき緻密な構成で積み上げ、燃え上る青春の情熱に献身し、苦悩する魂の姿を描いて、一読巻を措かせぬ、これこそ性の本能から人間社会を解明しようとする著者の最大にして最高の傑作たるを失わない。
東京都新宿区矢来 新潮社 振替東京八〇八番

要書房
敢て日本の良心に訴う
大河内一男・清水幾太郎他十五氏執筆
抵抗の学窓生活 定価一五〇円 〒一五円
満州事変(昭和六年)から太平洋戦争に至る十年間、それは文化ということ、学問ということが、学生であるということが、既に一つの抵抗であるような暗い絶望の季節であった。この暗黒の時代に、われらの先輩たちは、何を考え、如何に生きたのであろうか、読書の秋に絶好の読みもの。
手塚富雄著
一青年の思想の歩み 定価一五〇円 〒一五円
悲しむべき近代日本の激動の中を市井の片隅に過した、名もなき一青年の魂の歩みのあとに、今なお多難な歩みをつゞける祖国のあらゆる人々の将来をトする尊い示唆と啓示の光を見るであろう。
東京文京区駒込曙町・振替東京11132

戦後最大の眞相箱
マーク・ゲイン 井本威夫訳
ニッポン日記
驚異的賣行!!
圧倒的反響!!
上巻 二〇〇円
下巻 二二〇円
〒24円
筑摩書房
東京都文京区台町
振替・東京165768

☆キリスト教文学に新しい道を拓いた問題作☆
武藤富男著
小說 求道者
附 ウエンライト先生のことども
木賃宿の悲惨より身を起し、この世の栄達を求めた人間が、キリストに屈服する迄の体験記録!!
キリスト新聞紙上に八ケ月余に亘り連載され、十万の読者の熱読・絶讃を博し、此の程完結上梓されたもので、強靭にして傲慢、そして懐疑的な著者の入信過程を、リアルな筆致で描き出している。
近刊
賀川豊彦監修
渡瀬主一郎・武藤富男著
現代口語 新約聖書
(B6版 400頁 価未定)
東京 神田 キリスト新聞社
振替・東京196016

同窓会版

振わぬ会費納入

〝同窓の協力を要望〟

会報の無償送附も考慮

深刻な金詰りは同窓会にも反映してか、会員の会費納入が予想外に悪く、財政的危機に見舞れようとしている

昨年度一、二〇〇名分の予定が一三〇〇名と予定を上廻り、好成績を治めたので、今年度は三百円とし、一、八〇〇名分を予定して、通信、会報による請求、学生アルバイトの同窓生の勤務先訪問と積極的に手を打っているが、現在のところ約六割の納入率で、約三ケ月間に残りの集金をしなければならず、若し現状のまゝで行くと、年四回発行の会報も全会員に無償で送附することは、まず不可能となり同窓会ではこれの打開策に頭を悩ましている

同窓会事務当局談　会費を小為替で送るのは大変なことだし、忘れている方もいると思う、この際特にお願いするのは地方、職域支部でまとめて同窓会に送って戴ければ好都合だ、又参与、理事の方が同窓の個々の方に御話しして集めて頂ければと願う、そして卒業生の連絡可能総数五、五〇〇名のせめて半数の人が関心を持ち、会費を納入して戴くことが出来たらと特望している

会報も同窓との唯一のつながりなので出来ることなら続けて送りたい

ともあれ各大学に比較して、一番活躍している本会の名誉のために同窓諸兄の御協力を願うばかりだ

〝各大学とも四苦八苦〟

一方、早稲田、慶応、同志社各大学同窓会でも会費徴取には四苦八苦の態で、五万五千の同窓生をもつ早大では現在まで二割の納入率でこれの打開策に頭を悩ましている。同様、同志社大でも非常に悪く、卒業生数に反比例して納入率が悪くなっている

慶大では、特に会費は徴取せず、同窓会総会の列席者に二千円の寄附金を受け、やり繰をしている

一方、会報は、早大で「早稲田会報」同大では「同志社タイムス」（いずれも月刊）を発行しているが、これは会費納入者のみに無料送附をしている

会費納入状況

私学振興会結成

私学の援助、教職員の相互扶助事業などを目的として私学連合を母体に結成された私学振興会＝理事長島田孝一早大総長＝では去月七日、日大本部で理事会を開催、基本金として三百万円を支出することに決定、愈々本格的事業に乗り出すことになった。

校庭に「櫻」が九本

植樹運動成果

学校へ来て一番目につきなつかしく思われるのは校庭の銀杏、ヒマラヤ杉がすくすくと伸びている様である、こんな着想が実を結んだ記念植樹運動は本年度の卒業生を中心として左記の献金の結晶となり去る十月二十二日九本のの見事な八重桜が校庭、学校、正面を飾り輝やかしい本運動の第一歩をみだした

献金内訳左記の通り

二十六年度一七、一〇〇円、昭八会五、〇〇〇円、東芝立教会一、〇〇〇円、大正三、四、五年会七五〇円、大正一四年会一、二〇〇円、其他計一、三〇〇円　合計二六、三五〇円（十月二十二日現在）

なお運動に誠意賛同のクラス支部、同窓各位は額に拘泥せず全会員の隅々より陸続として御申出あらん事を懇請してやまない詳細は同窓会まで御問合せ下さい（写真は同窓会前の桜）

最近の体育会OBクラブの動向

中川体育会長帰朝歓迎会

約一年のアメリカ留学から帰朝した中川体育会長の歓迎と中川会長渡米中の会長代理細入教授の感謝をかねて去る九月七日五時から〇〇〇で約四十名のOBが参加して行われた

席上中川会長から〝アメリカ体育会の現状〟と題して談話あり、設備の優秀さ、運動のシーズン制の徹底等、種々日本アマスポーツにとって教えられる話を聞き九時散会した

綜合グランド実現か

現在のところ学校には体育会専用グランドがなく、各部は転々とグランドを借用して練習をしている始末、これでは強くなれと云うのも無理な注文だが、この問題が去るOBクラブ会の席上取り上げられて早速、陸上競技の小坂君が中心となり促進委員会を結成、学校側とも種々交渉の結果、ひとまづ練馬区石神井の清九組グランドを正式に借用することになったが、おいおいは、当グランドを譲り受け綜合グランドにしたく委員が申し入れを行っているが交渉不成立の場合には、更に強力運動を展開する

校歌應援歌レコードに吹き込む

体育会OBクラブの協賛で、このほどヴィクターから校歌と応援歌二曲を吹込み現在発売中である

校歌、応援歌とも会員の灰田勝彦氏の独唱と大学グリークラブの合唱で、出来は上々と云うところ、同体育会では〝是非一枚〟と、同窓生の購入方を要望している

優勝チーム個人に楯の贈与

一昨年から優勝チーム及個人にOBクラブから表彰して来たが、今年度からはOBクラブから鎌倉彫の優勝記念楯を贈ることになり、今年度優勝チームのアメリカン・フットボール、ハンド・ボールの両チームに来春のOB、現役祝賀会席上これを贈る予定

支部通信

立教狭山クラブ

埼玉県所沢市、豊岡町、飯能町在住のOB、現役相互の親睦をはかるため去る五月結成された〝立教狭山クラブ〟会は去る十一月十八日午後一時から大学構内食堂で、同窓会常任理事峰村幸三氏、双木久男氏らOB八名、現役十五名が出席して開かれ、峰村氏の挨拶、各先輩の活躍状況、同会の今後の方針など種々協議、終始なごやかなうちに五時散会した

なお同会では明年一月七日六時から、飯能町ニュームサシホールで新春ダンスパーティーを開催する

北区セント・ポールクラブ

十一月十六日五時から、赤羽公民館で、北区セント・ポールクラブが結成された

会長　吉本元輔氏、副会長　千々松忠男（大14）山田有治（昭5）森垣治雄（昭4）常木実（本学講師）以上の役員を決定し、会員二百五十名の参集を得た

前回の理事会で決定事項

推薦会員左記決定　佐藤哲夫（昭11）光村彦七（昭26・3）

地方支部長本会理事として承認

山陰セント・ポールクラブ、会長　福田亮氏

富士銀行セント・ポールクラブ

十二月十五日八重洲口いづみやで東京在住者の大部分の出席を得て富士銀行立教会を開き発足することとなった

会長　色田久磨（16・12）亀戸支店企画係長、幹事　小杉謙蔵（昭19）本店外国為替課、色川浩太郎（昭23）同田村東雄（25・12）会員　大石繁（昭25・12）浅草支店、高山昭雄（同）大阪梅田支店、林秀男（同）大阪備後町支店、高木恭治（昭26）本店外国為替課、田中貞雄（同）八王子支店、佐藤宗市（同）立川支店

定期会合　四月、十月

事務所　千代田区大手町一ノ六富士銀行本店外国為替課田村氏気付（電(23)代二四五一）

同窓旧教授復職に

同窓会動く

去る十月、十一月の理事会に於て追放解除の同窓の旧教授、大野信三、松下正寿、金子尚一、小沢淳男、柴田甫、宮崎伊佐夫各氏の復職を希望し、その交渉を会長副会長に委任した

この件に関し会長副会長は非常な関心を持っている旨を総長に申し入れ次の様な返答を得た

総長談　卒業生の教授を入れることには賛成であるが、内部的事情等もあり又教授会にはかる必要があり即答は出来ない

副会長　青木雄七氏談　大野さんは自立経済専攻の経済界の権威であり、同窓としても是非復職させたい、殊に外国の学校では四割が卒業生教授で満されているのに立教では一割もなく心細い状態だ、学校の方も相当関心を持っているので教授会の決定を待つまでになっている

今年度同窓会役員会概要

五月五日定期総会、五月十一日理事会、常任理事会、六月廿五日会報委員会、六月廿八日理事会、七月卅日理事会、八月四日就職懇談会（学校、同窓会）、小委員会、八月廿四日就職懇談会、小委員会、九月七日基金設置委員会、九月十四日会報委員会、九月廿七日常任理事会、十月十日同窓会会員名簿発行企画委員会、十月十二日理事会、十月廿六日基金設置委員会、十一月十六日名簿企画発行委員会、十一月廿六日理事会、十一月卅日会報委員会、十二月十一日就職懇談会（学校、同窓会）、十二月十七日名簿企画委員会

〝同窓会基金設置運動成果〟

先号所報の同窓会基金設置による洋服衣地その他の販売結果がこのほど次の通り発表された

売上額　洋服衣地一七、五吋四九、五五〇円、オーヴァー一六、七吋、三五、九〇五円、肌着一二組、一〇、三二〇円、靴下一二打、八、一〇〇円　合計　一〇三、八七五円

宣伝その他経費五、〇四〇円は衣地元の常盤商工で負担し、利益金一七、八二二円を同窓会に配分した

なお基金設置委員会あてに吉原郁大氏（昭八年卒）から三、〇〇〇円の寄附があった

事務だより

◇昭和二十六年度本会々費は金三〇〇円也です、至急御納入下さい。

◇御住所御職業変更の場合は何卒其都度お知らせ下さい、御友人の御消息なども併せて御知らせ願います。

◇凡て本会々費御送金の場合は振替口座東京六四五〇〇番を御利用下さると御便利で確実です。

同窓係

今村忠助

面会日

「今晩は仕事があっておそくなるんですが」と再三の電話の答は決っている。政治家の忙しさには客のさばきにもきびきびしている。やっと早朝のひとときに門をたゝくと靴が四五足ある、すでに先客である応接間に通してもらう、南国的な置物が目につく、この間しきりに電話がかゝり、お客が見えるこちらは大分貧客故後まわしだ。居間から出て来た紳士はホホボネのはった中肉中背のどっしりしたタイプ。「何かい」簡単なあしらいである、来意を告げると「それでは自動車の中で話してしまう」とインギンな面持で返事する。先輩との同乗だ少しもはがゆい所はない明るい投げやり的な言葉で始める。

〝学生時代のことを…〟

「僕は学生時代は立教で経済、日大で法科をやり留学生として外国に行っていたので卒業が一年のびたよ」

〝どの位巡ったのですか〟

「そうね植民地当時の独立国インド等を入れて37ケ国位行ったね」

「特にインド・ローマの文化は古典的な雰囲気の中に素晴しさがある」

〝御趣味はなんですか〟

「何んといっても旅行だね、行先々の自然に楽しむ、そこにも芸術はあるよ」イタリーの映画だったかな〝ホワイト・ローズ〟はよかった、後でそれをニューヨークでかけたら一年三ケ月のロングランであったよ、一般にアメリカ映画はハッピーエンドで何か深刻さがないね。その点イタリヤ、フランス映画は現実観に満ちている」

〝尊敬している人物は〟

「リンカーンだ、僕が小学校時代より尊敬して来ている、正義を貫ぬく彼こそ僕のシンボルだね、今だって応接間にはリンカーンの写真が飾ってあるよ」室に入った時記者もその事を感じていた、蒐集家というような感じはしなかった。

目的地に近づいたので早速今度の文部政務次官に任ぜられた抱負を語ってもらう。

「〝文教というものが経済、外交よりもまず第一だね、官吏のオショク戦後の道徳低下で相当世間は堕落して来た、経済関係は日米経済協定、国際経済の樹立等で相当発展して来ている、それに反し、文教方面は未だしの感だ、世界の信頼を得るにも、教育が第一だ」

目的地についた自由党の大御所幹事長邸だ。一寸失礼してパチリ、シャッターの音とともにすべては終った。（N）

〝散歩も出來ます〟

快方に向う松崎半三郎氏

昨年五月末、脳溢血で倒れた本学院理事長松崎半三郎氏（七七）のその後の経過は、何分とも高齢のこととて関係者を憂慮させていたが家族・医師・及び学院関係者等の熱心な看病と見舞に助けられて、医師もまた驚く程どの快復ぶりに愁眉を開かせている

松崎夫人談…昨年五月末、倒れたときはほんとに心配致し一時などは最悪の状態をも予想させるほどの病状でしたが、聖路加病院の河辺医師の御熱心な御診察と佐々木総長を始めとして学院関係者や帰国したライス・スナイダー教授夫妻等の真心こもったお見舞や、家族の献身的な看病と松崎の日頃の健康と、この四拍子揃った力によって段々と快方に向い、最近では看護婦の肩をかりて庭を散歩できるまでに快くなりました

ベットにあるときでも毎日、新聞、ラジオには目を通し、経済市況は決して欠かさず、会社や学校のことを心配しておりまして「さすがお父さんは職業意識だけは……」と感心しているのです。医師も微妙な快復は全く奇蹟的だと申されおるほどで、皆さんの御心配と厚いお見舞に対して心からお礼を申しあげるものです。（写真は松崎氏）

社会事業OB会結成

本学社会科社会事業専攻者を中心に構成されている社会事業学会では十二月一日午後六時OB会結成会を森脇社会科教授私邸で開催、同会では明春から積極活動に入る企画で、社会事業学会創立二週年を記念して論叢を出版六日に都下大学関係学会連合研究大会を開催する他、研究報告会の定期開催を予定している

OB会で謝恩会

社会事業OB会では来る廿三日金沢八景、千代本楼に淡路社会科長森脇、横山、谷川、三隅の教授を招いて謝恩会を開く

一九五二年度同窓会員名簿発行御知らせ

一、発行予定　昭和廿七年五月初旬発行予定

一、特色　▼B5判横書き、勤務先と住所と二段に分れる　▼職業の索引五〇頁を入れる昭和廿七年度新卒業生及び立教工業理科専門卒業生名簿を含む

一、頁数　B5判　五〇〇頁

一、価格　壱冊　五百円（送料含む）

一、予約申込　十二月発行の同窓会会報中の折込用紙に所定の事項を記載し弐百五拾円の前渡金と共に申し込むこと

一、現品引換　現品は残金弐百五拾円送金と同時に送附します

一、御願い　▼予約申込有無に係らず十二月会報中の附録に必らず所定事項記入の上点封して同窓会宛投函して下さい　▼会員各位は是非会員名簿をお備え下さい

立教大学同窓会

名誉と磨錬に生きる群像

体育会に有望選手を拾う

大学の名声は、その大学の持つ特色、伝統、先輩の活躍など多多あるが、学生々活にはなくてはならない文化活動、体育活動の存在も忘れることは出来まい殊に体育活動はそれが如実に現われることはいがめない、六大学野球などはその最もいゝ例であろう、このことは本学についても云えることで、こゝに本学の名声と、自己の身心鍛磨のために、活躍している各部の有望選手を拾ってみよう（岡）

まず春と秋、満天下のファンを沸かす野球部だが、大世帯だけあって、旧人、新人と引き出せばきりはないが、何んといっても旧人の篠原（防府中、経3）、新人の小島（川崎高、経1）が筆頭に上げられる、篠原は云う迄もなく、六大学随一の老巧外野手、一方小島は今春入学十八歳の剛球投手、左から繰り出す速球は、さしものハワイレッド・ソックスをして舌を巻かしたと云う将来の大物、この他、明大黄金時代の名監督の御曹子谷沢（大津高、文1）二塁手、打撃フォームは随一と云われる名門小倉出身の軍台（文、1）、昨年の甲子園大会打撃王瑞（済々黌、文1）、技巧投手二階堂（仙台二高、経2）等多士済々、大沢、山崎石原なき後も結構いいところまで行くのではないか

アメリカン・フットボール、この部ほど今年活躍した部はあるまい即ち関東リーグで優勝、甲子園バウルで王者を握り、事実上全日本のチャンピョンだ、尤も日本に始めて尖鋭を持ってきたのは、この部だから、〝おそまき〟のきらいはないでもないが、有望選手は関東リーグ最優秀選手に選ばれた快足中沢（九段中、経3）、野村（同）、に若冠無木（川口工高、文2）を挙げておこう

目立たぬスポーツではあるが関東リーグで優勝したハンドボール部は日体から転学した浦上（文3）小柄ではあるが渡辺（重機工、経3）、野尻（同）らの活躍で、戦後始めて出来たこの部を三連優勝させている

伝統のバスケット部も、慶大には今一歩と云うところで破れてはいるが、実力は殆んど同じで長身の荒井御（清陵高、経3）をポストに、闘将斎藤（岡田工、経3）、加瀬（同）に加えて新人友池（西南学院、文1）らは一時停頓した、この部を完全に立直らせた、特に前記荒井、斎藤はアジアオリンピックに日本代表として渡印するなど、体育会長賞受賞もむべなるかなである

バレー部、先日の全日本優勝大会で、決勝に惜しくも破れたバレー部は前衛攻撃に見事な腕前を見せた安田（青山高、理2）外川（川口中、経3）、五十井（興津高、文3）、バック陣の岡崎（山形高、経1）がいる

サッカー部、戦後不動の強味をみせているこの部は、竹下（浜松二高、文3）、高林（春日部高、文2）、GK玉城（関東学院、文2）、星（浦和市中、経3）と優秀な選手を揃えてる

水泳部の凋落は淋しいものがあり早く戦前の様に早、立、日のビッグ・スリーを実現させてほしいものだ、こゝで目立つ選手は短距離の田中（大洲高、経2）、長距離の大沢（広高校、経2）ぐらいのもので仲村、山田の去る今日、奮起を要望する

青地先輩を出した陸上競技部も、近時、グングン中央界に名乗りをあげ、日米陸上に出場した新人古谷（八善高、経1）、小田（夕張工、経3）＝以上短距離＝と長距離の山岸（秦野中、経3）等、来年のインカレが待遠しい

この他にスケート部の野部（今市中、経3）、三好（都六高、経2）＝以上ホッケー＝久滋（八戸中、経3）、＝スピード＝、ラグビーの杉本（千歳高、文1）、菱川（函中、文3）等体育会卅一部に籍をおく一人一人が有望選手ではあるのだ

写真は右上から篠原、小島（野球）田中（水泳）安田（排球）斎藤荒井（籠球）野部（スケート）古谷（陸上）久滋（スケート）

今年の就職戦線を顧みて

綱本鶴吉

卒業生の就職に関しては、毎々先輩諸兄に格別の御高配を賜り誠に有り難く厚く御礼申する次第で御座います。特に今年は種々の事情に依り、就職は困難視されましたので、同窓会と学校と協力一致して、この問題に当り非常な御努力と御援助を戴いたのであります。新聞紙等の報道では、今年は楽観的であったのですが、実際に於ては、求人申込は確に例年になく多数の会社、銀行等より申込はあったのですが、現下の諸事情は採用者数甚だ少なく、一会社に一人の採用者を得る事は容易でない状態であります。而し同窓会長始め諸先輩の御援助により全卒業生中就職申込者の約五割、尚家業に従事する者及び父兄による縁故関係で既に決定した者を入れますと、全卒業生の半分は、卒業後の方針の確定した者であります。而しながら残りの半数に付ては、如何にしても来春三月の卒業迄に決定致し度種々苦慮致し居る次第で御座います。就ては重ねて御願いにて誠に恐入りますが是等後輩の為、御勤務先の会社、又は御取引先の会社等に特別の御助力を賜り、採用銓衡の機会を得られる様御斡旋願申上ます。今日迄の就職状況の報告傍々御願い申上げる次第です。（大学人事課長）

山田選手退院

春の練習から参加か

既報＝リーグ戦中頭部圧瘤骨折の負傷を負った野球部山田三塁手はその後手術もせずに良好な経過をたどって、去る十一月十七日退院目下郷里名古屋市の自宅で静養している。

同君の回復は奇跡的なものといわれ激しい骨折にも拘らず、早期治療が決定的に功を奏したものといわる、同君からは春の練習は参加出来ると思う旨の手紙が届いており、絶望かとみられた同君のグランド・プレーも近くみられることになる模様。

新レコード校歌及應援歌

校歌「栄光の立教」及び応援歌「勝ちて歌はん」「セント・ポール」＝ビクター版

立大グリークラブビクターオーケストラ伴奏

灰田勝彦氏吹込

当分市販せず。

単価一枚二百円。十枚以上は五分引き。御申込は、立大同窓会本部又は、体育会本部又は応援団部室に。

売切れにならぬうちにお早く！

壁掛用の装飾品としてもグット来るもの、灰田氏のサイン入り

Merry X'mas
地下室のクラブ御利用下さい
校友の店
Coffee Shop
ブルーリボン
小挽町1ノ10
銀座デパート横入

珈琲
ボン
新宿武蔵野館前向 (37)2036
日本橋東海銀行裏 (24)5808

Xマスの贈物は
丸ビル千疋屋へ
TEL(20)3758
(56)1844

保険
中央生命と火災保険の代理店を開業しました。御加入下さることは学院の発展の礎となりますから是非御加入下さい。
現在契約　生命保険 8,600万円　火災保険 6,000万円
学校法人　立教学院事業局

池袋で一番おいしい
おなじみの喫茶店
キシノ
西口バス通り、三又交番際

X'mas Present
新宿
高野フルーツパーラー

NKK
日本鋼管
製鉄・造船・船渠・化成品・肥料
資本金　十億円
取締役社長　河田重

MERRY X'MAS
Have a cup of tea for the night!
EXTRA RICH THE BEST TEA
森永紅茶
森永製菓株式会社

年末もちづくし
手もちの金をもちつと有利に廻したい、株でもちたい、と云うお気もちの方に、近頃評判の投資信託をお勧めいたします。
一口五千円づつの出資で、十億円の巨額にして、みんなでもちつ持たれつの利益を挙げようという仕組み、その運用はもちはもち屋の証券会社が、もち前の専門機能をフルに動かして、誠実に行います。お金もちの方はもちろん、お世帯もちのよい奥様がたもどうか御利用下さい
投資信託
第五回　十億募集中
（くわしい説明書差上げます）
東京・日本橋・兜町
山一證券
都内営業所　京橋（第一相互館）・新宿・浅草（雷門）
丸ビル一階・渋谷・高島屋・横浜（馬車道）

御婚礼と
御披露宴は
上野
精養軒
Tel.(83)1191～6

この尖端が生命！
優れた書き味を十年以上も保護する真正の耐磨耗合金装着
イリヂウムに優る硬度合金
特許パイロスミン・スーパー
パイロット
高級萬年筆